

## 第82回 理事会 議事録

1. 日 時 令和5年3月7日(火) 13時00分～14時50分
2. 場 所 WEB・対面方式 ホスト：アルカディア市ヶ谷
3. 出席者
- |       |       |        |  |
|-------|-------|--------|--|
| 会 長   | 井上 圭三 |        |  |
| 副 会 長 | 楠 文代  | 中村 明弘  |  |
| 常務理事  | 田中 芳夫 | 越前 宏俊  |  |
|       | 浜岡 純治 | 加留部 善晴 |  |
| 理 事   | 杉林 堅次 | 亀井 美和子 |  |
|       | 元木 和幸 | 奥 直人   |  |
|       | 引田 弘道 | 神野 透人  |  |
|       | 赤路 健一 | 中村 恵   |  |
|       | 北川 裕之 |        |  |
| 監 事   | 富田 基郎 | 市川 厚   |  |
| 参 与   | 乾 賢一  | 本間 浩   |  |

理事現在数	17名
出席理事数	16名
会場出席	5名
WEB出席	11名

#### 4. 議事の経過の要領及びその結果

定款の規定に基づき井上会長が議長に就任し、理事現在数17名に対し、本日の出席理事は16名となり、定款で定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立していることが宣言された。また、議事録署名人として出席理事から、楠副会長を指名し、事務報告の後、議案の審議に入った。

##### (1) 前回議事録の確認について

前回議事録(第81回理事会：令和4年11月29日開催)について、全会一致でこれを承認した。

##### (2) 広報誌「6年制薬学ガイド2024」の刊行について

井上会長から、「資料3」に基づき、「6年制薬学ガイド2024」の掲

載内容について以下のとおり説明があった。

- ① 6年制薬学部の学びについて、薬学部を志望する高校生との対談
- ② コロナ対応で活躍した地域の薬剤師の姿
- ③ 「6年制薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）」の内容
- ④ 研究室訪問・卒業後の進路等

また、本ガイドの発行時期については、新しいコアカリの内容を盛り込むことから、5月中旬を予定している旨報告があった。

### （3）薬学教育協議会について

本間参与（薬学教育協議会代表理事）から、「資料4」に基づき「第46回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会（令和5年1月24日開催）」について、以下のとおり報告があった。

- ・ 2022年度第Ⅲ期の実務実習の問題点として、緊急時の学生との連絡方法、学生の態度及びコミュニケーション能力不足の学生が多くなっていること等に関して意見交換を行った。
- ・ 令和5年度実務実習広報用ポスターについて、日本病院薬剤師会の協力の下に撮影が行われ、各関係団体から後援名義使用の承諾をいただいた。
- ・ 認定実務実習指導薬剤師養成研修委員会において、現在の講習会の内容を再編成する準備を進めている。
- ・ 認定実務実習指導薬剤師の認定申請及び審査状況について

### （4）薬学共用試験について

中村副会長（薬学共用試験センター試験統括委員会委員長）から、「資料5」に基づき、「2022年度薬学共用試験 CBT 本試験全国結果」について報告があった。

### （5）薬学教育第三者評価について

薬学教育評価機構の主催により開催する「6年制薬学教育の内部質保証に関するワークショップ」（令和5年4月15日（土）：オンライン開催）について「資料6」の配布があった。

### （6）日本薬学会の報告について

中村副会長（日本薬学会薬学教育委員会委員長）から、「資料7」に基づき、「学位（博士）取得者のキャリアデザインに関するワークショ

ップ報告書」について、実施内容等の報告があった。  
関連して、大学院生への経済的支援等について意見があった。

## 5. その他

### (1) 薬学系人材養成の在り方に関する検討会（第5回）・薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究委員会（第6回）合同会議の開催について

井上会長及び本間参与から、2月14日（火）に開催された標記合同会議について、以下のとおり報告があった。

- ・パブリックコメントを受けて修正した内容等を基に、薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版（案））を了承した。
- ・その中で、〈学修目標〉〈学修事項〉については説明を補足し、概念的な理解についてより詳しく記載した。
- ・また、「臨床実習」、「実務実習」の用語の表現については、「臨床実習」や「臨床実務実習」とする意見が多かった。しかしながら、文部科学省としては、大学設置基準に関する省令等において、「薬学実務実習」と記載されていることから、「実務実習」に統一するが、現場の判断で「臨床実習」と呼ぶことも可能とした。
- ・薬害への安全性については、薬剤師に期待されるものが大きい。

これらコアカリ改訂に関する周知・シンポジウム等の開催が、下記のとおり行われることになった。

日 時：4月12日（水）午後 オンライン開催

参加者：1大学5名以内

なお、詳細については、後日改めて大学へ通知する。

### (2) 薬学実務実習に関する連絡会議（第14回）について

本間参与から、令和4年12月27日に開催された標記会議について「資料9」に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・「薬学実務実習に関するガイドライン」を見直すこととなった経緯等について
- ・令和4年度大学における薬学部教育の在り方に関する調査研究委託事業（委託先：一般社団法人薬学教育協議会）において、「薬学実務実習ガイドライン改訂ワーキンググループ」を立ち上げ、これまで4回開催し、「薬学実務実習に関するガイドライン」（令和4年度薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂対応版）（素案）をまとめ、提案した。

- ・ 今後の予定は、令和 5 年 3 月 15 日開催の「新薬剤師養成問題懇談会」へ検討状況を報告し、4 月以降、薬学教育協議会（病院・薬局実務実習推進委員会）において、実習内容、実習による学修の評価方法について検討し、秋頃には、「薬学実務実習に関するガイドライン」（令和 6 年度入学生から適用予定）を決定する。
- ・ 現行の「薬学実務実習に関するガイドライン」については、実習の評価（評価・検討）を行うとともに、令和 4 年度実務実習の実施状況を踏まえた課題への対応について、速やかに取り組むことが重要であるとした。

### (3) その他

以下の資料配布があった。

1. 「大学、短期大学及び高等専門学校を設置等に係る認可の基準の一部を改正する告示案の概要」  
（中央教育審議会大学分科会（第 171 回）令和 5 年 1 月 25 日開催）
2. 令和 3 年度大学等におけるインターンシップ実施状況（文部科学省）
3. 私立学校法の一部を改正する法律案の概要（文部科学省）

最後に、理事の昭和薬科大学元木和幸理事長が、令和 5 年 5 月 10 日付で退任されることから、理事退任の挨拶があった。

議長は、以上をもってすべての議案の審議を終了した旨発言し、14 時 50 分閉会を宣言した。

以上の議決を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事（指名された議事録署名人）、監事がこれに署名捺印する。

令和 5 年 3 月 27 日

一般社団法人 日本私立薬科大学協会

議	長	井	上	圭	三
					(押印済)
出	席	理	事	楠	文
					代
					(押印済)
					(議事録署名人)

出席監事	富田基郎 (押印済)
出席監事	市川厚 (押印済)